

しおかせ留学

山村留学生制度案内

絶賛募集中!!



Mishima Islands



Kuroshima



Ioujima



Takeshima

人間の温かみを知ることができました
これが「自分」というものを見つけることができました
いつもそばにいた親の大切さを改めて知ることができました
限られた人数の中で自分自身と向き合うことができました
大切な「人」「物」の意味が分かりました
いろいろな人と接して明るくなれました
勉強が分かるようになりまし た 自分から手伝いができるようになりました
同じ家に住む留学生や里親さんと家族のような絆ができました
「学校」というだけで押しつぶされそうだった私が毎日学校に行けるようになりました
たくさんの自然の中で生活をして 普段では体験できないことをして とても楽しく生活できました
小・中合同の活動や地域の方と接する機会が多いため 年齢を問わず話せるようになりました
島の文化を体験できました 規則正しい生活をおくれるようになりました



楽しくて みんながやさしいから
いじめはありません
分からないことを
分からないと言うことができます
三島村のよさを知ってほしいです
ジャンベ(アフリカ太鼓)をたたいて
楽しんでほしいです



今つらい思いをして
いやいや学校に行っている人も
違う学校のよさを知ってほしい
いやなことばかりじゃないって
ことを知ってほしいのです

鹿児島県



島

村

「しおかぜ」のやさしさを伝えたい

ホントの自分らしさを探している君へ！
新しい未来を探しているあなたへ！

あなたが何かをきっかけとして 前向きな気持ちになれるなら
一度きりのあなたの人生も 少しずつかもしれないけど
明るい未来に開かれていくものになるかもしれません
そんなあなたの心に寄り添い さりげなく応援してくれる
そんな人々との出会い 心いやす風景との出会い
それが三島村の「しおかぜ」留学のやさしさです
この留学制度は 人数は限られています
いつでもご相談ください お待ちしています

ぼくやしおかぜ留学

ぼくは、家族とはなれて黒島に留学している。母が教えてくれた「しおかぜ留学」に参加しているのだ。島に来るまで「絶対に楽しむぞ。魚もいっぱい食べるんだ。知らない世界を見て、たくさんのごちそうを学ぶんだ」と、うさずましていた。島には「島のお父さんとお母さん」が待っていてくれた。自分のことは自分でするし、お手伝いも毎日する。ごはんも、好ききらいせず全部食べるのが決まりだ。学校生活も今までとは大ちがいだ。4年生は2人しかいないから、いつも自分の考えを発表しなくてはならない。できないところがあると先生は、できるまで何度も何度もやり直しをさせる。

今までと全然ちがう島の生活。正直、さみしくてねむれない日もあった。でも、ぼくは一度も「家に帰りたい」と思ったことはない。島の生活がとても気に入っているのだ。友達みんな優しいし、いろいろなことができるようになった。期末のテストでは、人生で最高の点数をとった。

2学期、運動会では伝統の「弓矢おどり」をおどる。誰よりもかっこいい弓矢おどりをおどってやる。これが今の目標だ。ぼくが選んだこの場所で、めいっぴいはばたいてみせるぞ。

(小4男子 地元新聞掲載)

2年前の冬、私たち家族は、深い絶望の中にいました。いじめを受け、立ち上がれないほどの苦しみにいる娘。その娘がどうしたらもう一度、以前の明るい子にもどれるだろうか、とそればかり考えていました。

悩み抜いた末、娘の「学校に行きたい。友達と楽しく話したい。勉強したい。」という強い意思を確認し、転校を決めました。

自然の多い、明るい環境を希望し、お電話させていただいた時、三島中学校の先生から、「おまかせください。心よりお待ちしております。」というお言葉をいただきました。

受話器を置くと同時に胸が弾み、うれしい感謝の涙がこぼれました。母親さんご夫婦にも優しいお言葉をいただき、それから1週間後、娘は硫黄島へ渡る船の中にいました。出発までの日々、娘も私たち家族も、新しい生活、新しい学校への期待が大きく大きく膨らんでいくのを抑えることができませんでした。

しおかぜ留学も、2年目になりました。約1年半前想像していた通りの充実した生活(島のいろいろな行事に積極的に参加させていた)や、また先生方の熱心なご指導のもとで過ごす学校での時間、ジャンベの演奏活動など、心より感謝いたしております。あの時、決断して本当に良かったと、遠く離れた地より、娘の毎日の健康を祈るとともに、学校の先生方、母親さんご夫婦、そして島の皆様本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後、このしおかぜ留学の制度をぜひ続けていただきたいと思います。それは、いじめにあった子どもたちが苦境から立ち直り、再び生きるためのエネルギーを取り戻すため、なくてはならない制度だと考えるからです。

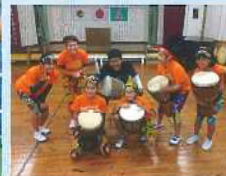
(県外からの留学生の母)



硫黄岳の見えるフェリーデッキで記念撮影



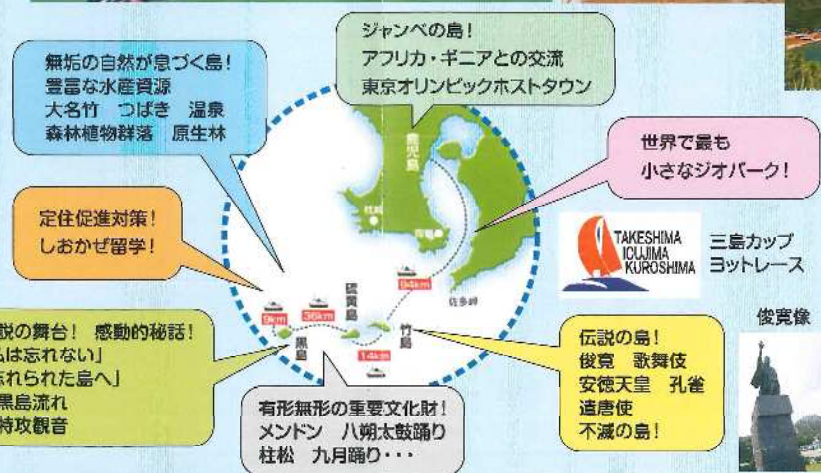
アフリカの太鼓「ジャンベ」



硫黄島港



ヨット体験



三島大里学園(黒島)



遠隔教育システム！
文科省モデル校



三島硫黄島学園(硫黄島)



三島片泊学園(黒島)



ALTによる英語の授業



三島竹島学園(竹島)

自分に勝ちたい

ぼくには、「足りないもの」がある。そう気づいたのは、一年間のしおかぜ留学が終わろうとしているころのことだった。

昨年の四月、ぼくは三島村にある黒島に留学生としてやってきた。自分をかえたいと思ったからだ。でも、親元をはなれた生活、人間関係など環境の変化に慣れることがなかなかできず、家に帰りたいと何度も何度も思っていた。そんなぼくが、自分の意志で二年目の留学期生活を送っている。それは、自分に足りないものがあることを島の生活が気づかせてくれたからだ。この島だったら自分に足りないものを得られるかもしれない。

ぼくに足りないもの、それは「優しさ」である。それに気づいたきっかけは、ほんの小さな出来事だった。道を歩いていると、島の人が、「こんにちは。あーっ、身長がのびたねえ。」と声をかけてくれた。ただそれだけだったけど、ぼくはすごくうれしかった。それは、自分でも気づかなかった変化に気づいてくれ、いつも見てくださっているんだなあ。と感じることができたからだと思う。そのとき、今まで自分のことで精いっぱい気づけなかった島の人たちの優しさに目が向くようになった。それと同時に、人に優しいと思ってもらいたいけれど、どうしても優しくできない自分にも気づくことができた。

では、なぜ島の人はぼくの変化に気づくことができ、ぼくは気づけないのか、ぼくはなぜちゃんと答えてあげられないのか、次はその原因について考えた。ようやく見つけた答えは、「ぼくには、人のことを考えるよゆうがない」ということだ。

ぼくはいつも、やるべきことを後回しにしてしまい、しなければならぬことがどんどんたまっていく。それで自分のことで精いっぱいになり、いらいらしていることが多い。考えもせず「無理だ」とあきらめたり、「めんどくさい」という気持ちが「やらなきゃだめだ」という気持ちに勝ったりしてしまう。よく考えると、今まで自分の意志で、こんな自分に勝とうとしたことがないかもしれない。こんなことをずっと繰り返してきたぼくに、人のことを考えるよゆうなんかできるはずもない。

このままではいけない、と分かっている。でも、自分をすぐに変えられる自信もない。でも、ここを卒業するまでに、ぼくがあこがれる「優しさ」を手に入れられるよう、自分の弱さに打ち勝てるぼくになりたいと思う。

(小5男子)

三島村「しおかぜ留学」とは・・・

募集基準は？

小学校4年生～6年生及び、
中学校1年生～3年生までの
児童・生徒が対象です！

小さな三島村の大きな自然の中でのびのびと過ごし、勉強を希望する児童・生徒を受け入れています。

希望者は、「三島村しおかぜ留学制度実施委員会」が面接のうえ決定します。

特に留意することは？

「三島村しおかぜ留学制度実施委員会」立ち合いのうえ、里親との契約を締結しています！

- 留学生は村内に住民登録をします。
- 健康保険証を持参します。(写・コピーしたもの)
- 衣服・寝具は持参します。
- 期間中はなるべく子どもには電話しないようにします。

その他は？

必要に応じ、「しおかぜ留学制度実施委員会」と協議し、善処します！

【帰省について】

長期間の休みについては帰省するものとし、実家との往復は実親もしくは実親の委任を受けた人に引率していただきます。但し、児童・生徒、実親、里親との話し合いによって条件が整えば、滞在することも可能です。

【解約について】

次の事項に該当する場合は、解約します。

- ① 児童・生徒の問題行動等により、指導監督が困難であると判断されたとき。
- ② 委託料の不納及び契約違反が生じたとき。
- ③ 家庭の事情等により解約希望が生じたとき。



フェリーみしま

三島村行きのフェリーは、週4便です！
毎月の運航予定については、三島村ホームページをご確認ください！

期間は？ 里親は？

期間は1年とし、
継続も認めています！

里親は、「しおかぜ留学制度実施委員会」が、この制度の趣旨をよく理解してもらってる家庭に委嘱しています。

里親は実親とよく連携をとりながら、子どもたちの健やかな成長に向かって努力していただいています。

経費は？

実親は月額25,000円を、
前月25日までに納入します！

その他、児童・生徒にかかわる次の経費は実親負担です。

※学校教材費、学用品、衣料費、通信費、旅行費、特別活動費等及び小遣い等

給食費・医療費は無料です！

お問い合わせ先は？

留学を希望される方、資料が必要な方は、三島村教育委員会までお問い合わせください！

〒892-0821 鹿児島市名山町12-18 **三島村教育委員会**
(☎099-222-3141 Fax099-223-1832)
(メール kyouiku00@mishimamura.jp)

交通アクセス



三島村の役場は鹿児島市内にあります！

